

第12回 国際日本学シンポジウム 「都市・建築・空間の国際日本学」

【日時】	平成22年(2010)7月3日(土)・4日(日)
【会場】	お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201号室 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 Map (東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩5分) ※正門(東門)からお入り下さい。
【主催】	お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター
【共催】	特別経費「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム フランス国立極東学院 (École française d'Extrême-Orient)
【使用言語】	日本語
【参加費】	資料代500円
【問合せ】	比較日本学教育研究センター http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/
【プログラム】	7月3日(土) 13:00~17:00 共通講義棟2号館201号室 セッションⅠ: 都市・村落・住居・墓地の風水—史資料からみる風水の実態— 東アジアの風水について、民俗資料と文字資料から日本本土・沖縄・中国の実態に迫る。 〈挨拶〉 羽入 佐和子 (お茶の水女子大学学長) 〈研究発表〉 司会: 宮内 貴久 (お茶の水女子大学大学院准教授) 渡邊 欣雄 (中部大学教授) 「都城風水概説」 金澤 雄記 (飯田市歴史研究所研究員) 「家相図と建築—飯田・下伊那地域の事例報告—」 小熊 誠 (神奈川大学大学院教授) 「沖縄の村落移動と風水」 水口 拓寿 (東京大学大学院助教) 「名墓の風水に『便乗』する者たち —中国寧波・東銭湖墓群の事例から—」 ★ ウェルカム・パーティー (17:30~19:00) ふるってご参加下さい。(無料) 7月4日(日) 共通講義棟2号館201号室 セッションⅡ: 日本の建築空間と庭園—明治から20世紀初頭にかけての欧米におけるその受容と普及—

建築空間・庭園について、日本学の国際的視点から多角的に考察する

■ 午前の部 10:30～12:00

司会：ロール・シュワルツ＝アレナレス（お茶の水女子大学大学院准教授）

〈研究発表〉

ニコラ・フィエヴェ（フランス国立極東学招聘教授）

「日本庭園について英、仏語で出版された3冊の主要な書物」

田路 貴浩（京都大学大学院准教授）

「堀口捨己—オランダ建築と茶室—」

■ 午後の部 13:00～18:00

司会：秋山 光文（お茶の水女子大学大学院教授）

〈研究発表〉

ブノワ・ジャケ（フランス国立極東学院 京都支部部長）

「桂離宮とその庭園—1930年代における日本の近代性の発見—」

ケン・タダシ・オオシマ（ワシントン大学准教授）

「山田守と国際建築」

内山 尚子（お茶の水女子大学大学院生）

「イサム・ノグチの《ユネスコ庭園》をめぐる『日本庭園』の意味について」

ヨラ・グロアゲン（フランス国立高等研究実習院大学院生）

「アントニン・レーモンドの住宅建築における自然との関係の表現について

—夏の家（1933）—」

〈パネルディスカッション〉

司会：元岡 展久（お茶の水女子大学大学院准教授）